

# 石造七重塔

セキゾウシチジュウノトウ



指定日：昭和50年(1975)3月12日 種別：建造物

鷲林寺の参道右側に小さな墓地があり、石造七重塔はその西南隅に南面して建っている。花崗岩製の七重塔で、相輪を欠くが、保存状態はよい。軒先の形式より、13世紀末から14世紀半ばに建立されたものと考えられる。現在知られている市内最古の石造遺品として注目すべき石塔である。